

全国で取り組まれている 原発再稼働ストップ金曜行動

(しんぶん赤旗の報道より)

原発再稼働ストップ



集会で発言する参加者―新潟駅前



◇新潟

反省なしの東電

なくそう原発・新潟市民

ネットは、新潟駅前での429回目の行動に12人が参加しました。

集会では、東京電力が9月22日に原子力規制委員会に提出した柏崎刈羽原発における核物質防護の不備問題などに関わる改善措置報告書について、参加者から批判が集中。「核セキュリティ意識の低さを指摘しているが、福島第1原発事故を起こした反省がないあらわれだ。東電には原発運転の能力はなく、廃炉しか道はない」「第三者委員会による原発職員らへのアン

金曜行動 10月1日

ケート調査で、27%が『正直にものを言えない風土がある』と回答するなど、もの言えぬ風土が2002年のトラブル隠し問題以降も根強く残り、改善は見込めない』などの発言が相次ぎました。

事務局から、12月12日に、佐々木寛新潟国際情報大教授の講演DVDを学ぶ「なくそう原発2021講演会in新潟中央」を開くことが案内されました。集会後、「東電/改善はムリ」という看板を先頭にデモ行進しました。



金曜行動 10月8日

◇秋田 共通政策を紹介

秋田県の「さよなら原発 県民アクション」は、秋田市中通で行動を再開。436回目のデモに25人が参加しました。

安倍・菅政権を継承、「新しい資本主義」成長戦略などと原発新増設・再稼働を表明した岸田文雄首相を強く批判しました。原発に頼らない脱炭素社会追求を掲げる野党4党・市民連合が合意した総選挙共通政策を紹介。「原発ゼロこそ



原発ゼロを訴える参加者＝秋田市

国民多数の声。総選挙で政権交代実現。原発ゼロの希望ある社会をつくろう」と訴えました。

◇津 投票に生かして

原発なくせ三重県民会議は、津市のまん中広場で第98回目の月例会を開き、13人が参加しました。

「原発なくそう 未来につけをまわすな」の横断幕や、「原発いらない」「NO NUKES」のプラカードを掲げてスタンディングアピールしました。

県民会議は、県内の総選挙小選挙区候補者に「福島での汚染水排水」や「原発への依存」への見解を尋ねるアンケートを実施し、結果

をまとめたチラシを配布。両方に「反対」と回答したのは共産党の中川たみひで衆院4区候補だけ。自民党の候補者4人のうち3人は無回答で、1人は両方に「保留」と回答しました。

県民会議は「投票行動に生かしてほしい」と話しています。次回は11月12日を予定しています。

◇水戸

原電の前で抗議

日本原子力発電東海第2原発（茨城県東海村）の廃炉をめざす「原電いばらき

抗議アクション」が、水戸市の日本原電茨城事務所前であり、約20人が参加しました。

新型コロナウイルスの影響で現地開催は約2カ月ぶり。この間はオンライン形式で取り組まれてきました。

参加者は「世界では自然エネルギーが普及している。いつ事故が起きてもおかしくない東海第2は廃炉に」「声を上げ、たたかいを続けることが一番大事だ」と力説。「一日も早い政権交代で、再稼働ストップを実現しよう」と訴え、「東海第2は老朽原発」「再稼働なんて『ごじやっぺ』（いいかげんなこと）やめよ」とコールを響かせました。

9月の東海村長選をたたかった乾康代さんも参加し、再稼働ストップへ決意を語りました。



「東海第2原発は廃炉に」とスピーチする参加者（手前左）＝水戸市

原発再稼働ストップ



歌で脱原発をアピールする参加者＝北九州市

◇北九州 駅前行動を再開

「さよなら原発！北九州連絡会」は、北九州市のJR小倉駅前で440回目の行動に取り組みました。緊急事態宣言期間の約2カ月休止していましたが、先週から再開しました。

参加者らはハンドマイクでの訴えと歌、「原発いらない」などのコールで脱原発をアピール。歌を披露した「北九州青い空合唱団九条の会」が市民の注目を集め、足を止めた20代の男性が「本当に原発をなくせるんですか」などと質問し、真剣に説明を聞きました。合唱団メンバーで行動に欠かさず参加する仲楽蘭省三さん（74）は、次の総選挙に向けた市民連合と4野党が合意した共通政策に「原発のない脱炭素社会」が掲げられたことに期待を寄せました。

10月17日 首相官邸前「原発いらない金曜行動」



「原発いらないと選挙で示そう」と訴える参加者＝15日、首相官邸前

原発いらない 選挙で示そう

官邸前金曜行動

再稼働や新增設を許さず、原発のない日本を実現しようと15日、「原発いらない金曜行動」が首相官邸前で行われました。参加者は、原発推進の安倍・菅・岸田自公政権にかわる「いのちを大事にする政治」へ、「選挙で意思を示そう」と声をあげました。主催は実行委員会。毎月1回行われている行動です。

実行委員会呼びかけ人の落合恵子さんがスピーチしました。東京などで震度5強を観測した地震について「改めて私たちが地震大国にいたいことを示した。にもかかわらず再稼働を進めようとしている」と岸田政権を批判。「総選挙です。沈黙せず、私たちの意思をしっかりと示そう」と呼びかけました。市民が次々とマイクを握りました。福島から駆け付けた

女性は「いのちを大事にする政治にしたい。（東電福島原発事故の）汚染水の海洋放出に反対するよう衆院の候補者に声を届けていく」と紹介。日本原電海第2原発の再稼働に反対する男性は「老朽原発であり、30キロ圏内には90万人以上が住み安全な避難などできない」と強調しました。栃木、島根で反原発を訴えて行動を続ける市民団体からメッセージが寄せられました。